

令和7（2025）年度

地域学校協働活動推進員養成研修① 実施報告

実施日：令和7（2025）年7月8日（火）

地域学校協働活動推進員養成研修の第1回目をオンラインにて開催しました。本研修では、学校と地域の連携・協働活動の在り方について理解し、学校と地域のコーディネートに必要な知識や技術の習得をねらいとして、地域学校協働活動推進員としての資質向上を目指します。

講話「学校と地域の連携・協働がつくる未来」

岡山大学 教授 熊谷 慎之輔 氏

講話では、社会教育の基本的な概念から始まり、学校教育と社会教育の違いや連携の意義について、理論的かつ実践的な視点から解説がありました。特に、「地域とともにある学校づくり」と「学校を核とした地域づくり」の両輪をつなぐものとして、「社会に開かれた教育課程」の重要性が強調されました。

また、地域学校協働活動を推進するうえでのマネジメントの視点として、ソーシャル・キャピタル（社会関係資本）の概念が紹介され、地域の人間関係の豊かさが子どもの学力や成長に大きく影響することが示されました。さらに、コーディネーターの役割についても言及され、学校・地域・家庭をつなぐ存在としての意義や、活動の質を高めるための組織づくり、ビジョンの共有の必要性などが具体的に語られました。



情報交換「コーディネートの悩みを共有しよう」

総合教育センター職員

Zoomのブレイクアウトルーム機能を活用し、受講者同士による情報交換の時間が設けられました。3～4人のグループに分かれ、コーディネート業務における悩みや課題、熊谷先生の講話を受けての感想や疑問点などを自由に共有しました。受講者からは、「立場が違う方とお話してきたのはとても参考になりました。」「同じルームの方々との話から、今後のやりたいことにも気付くことができました。」といった声が聞かれ、交流することを通して有意義な時間となりました。



次回は、ファシリテーションスキルを中心に、協働活動の質を高めるための演習が予定されています。

【受講者の感想から】

- 夏祭りを中学生が準備、運営、片付けをするのがすばらしいと思いました。私の地域では、お祭りが下火になっていますが、地域と子どもたちが一体となった取組で、参考にしたいと思いました。
- 大人も学び、元気になる活動で、自分だけでなく地域の方々も元気になってもらえるようにしなければならぬと学びました。肩の力を抜いて、できることを周りの人たちと活動していきたいと思います。意図的で計画的、そして継続的な漢方薬のお話は、腑に落ちました。

研修内容に関するお問い合わせは、栃木県総合教育センター生涯学習部まで
TEL:028-665-7206 e-mail: skc-syougai@pref.tochigi.lg.jp